

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 言語学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 (言語学 専攻分野)

I. 次の文章を読んで、問(1)～(4)に答えなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(Dinesh Ramoo (2021) *Psychology of Language*, 165-168. BCcampus Open Education. より一部改変)

- 問 (1) 下線部(i)の lemmas とはどのようなものか、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (2) 下線部(ii)の The reason these two processing levels, lemma retrieval and word-form encoding, are assumed to exist とはどのようなものか、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (3) 下線部(iii)の In the first, we see that the morpheme that indicates the plural number has remained in place while the morpheme for 'apple' and 'pie' exchanged. を日本語に訳しなさい。また、その意味するところについて、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 (4) 下線部(iv)の Roeloffs (1999) は、どのような実験を行い、どのような結果を得て、どのような結論を導いたのか、本文に即して具体的に説明しなさい。
-

II. 「言語学会第 23 回大会」を通常で速度で発話した場合の発音を国際音声記号 IPA で表記しなさい。

III. 次の 10 語の中から 5 語を選び、和訳した上で簡潔に説明しなさい。

1. accent
2. agglutination
3. compositionality
4. ergative alignment
5. gender
6. iconicity
7. inalienable possession
8. linguistic relativity hypothesis
9. relative clause
10. sonority hierarchy

【問題 I、問題 II、問題 III に対する解答は次頁以降にまとめて記すこと】
